

同棲彼女
久乃さん

あなたの精子で
孕ませてえ♡

申出し孕ませ
♡

体験版








...ん？

かちん



ドアを開けた瞬間
信じられない光景が
俺の目に
飛び込んできた…

なぜだ…
なぜ…

俺んちの風呂場に…
全裸の女体がつ!?



キョロキョロ

!!!

はぁ

はぁ

はぁ

俺は ドアを
開けたままその場で
呆然と固まった

そしてその女体…
いや 女性もまた
俺と視線を合わせた
まま固まっている

キョトン

キョトンとした表情で
俺を見つめ
パ…パンツを
手にしたまま…

ひるん

ズン

ひるん



ほどよく大きなお尻に
くつきりと
くびれたウエスト

そしてその上にブーンド
これみよがしに
自己主張する
巨乳…いや爆乳…
いやいや超爆乳!

残念なのは
手にしたパンツのせいで
俺からは
肝心の部分が見え—

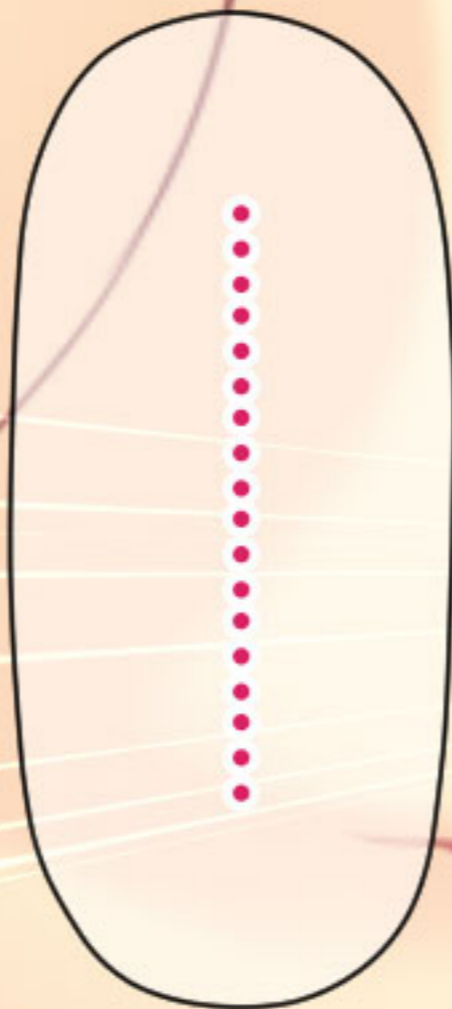
キョトン

ぷるん

ズン

ぷるん





あ

ふと彼女の手から
パンツが落ちた

あ…見えた

あ

あ...

え...

おお...

が次の瞬間...

おっ

あふ
び
♡

きや
♡

突如 彼女の
口から漏れた
若干嬉しそうな
悲鳴を耳にして
俺は我に返った

+



きん

おっぱい

ままずい!?
俺は何を
しているんだっ!?

あっいやっそのっ...
こっれはっ!?

ち違うんだっ!
これはその...
ふ 不可抗力だ!

びん

びん

おっぱい



俺は慌ててドアを
閉めると一目散に
その場を逃げ出した

あマサキ！
アンタ今お風呂に…

ふ 不可抗力だ！

え…

母さんを見無視して
部屋に飛び込む





はあああああつ...

後ろ手にドアを閉めると
俺は深いため息を
はきながら
その場へたり込んだ

はあつ はあつ
はあつ...

バタッ

落ち着け…
落ち着くんだ俺

すうっ…はあっ…
すうっ…
はああっ！

呼吸を整え 今の出来事を
あらためて整理してみる



なぜ彼女が
俺んちの風呂場に
いるのか…そこだ！

そう…俺は
彼女のことを知っている

彼女と
目が合った瞬間…

おれはその素晴らしい
体の持ち主が誰であるか
一瞬で気づいていた

彼女の名は
三嶋久乃
(みしま
ひさの)

俺より1つ年上の
幼なじみにして
クラスメイトで
初恋の人で…

いまだに憧れの
存在である久乃さん
その人だった…





うううう…ぐすん…
ぐすん

よしよし
もう大丈夫よ？
ひどい目に遭ったわね
…可哀想に

ぐすん…

…んん



俺の母…深田頼子
(ふかだ よりこ)

某大手商社に勤めている
バリバリの
キャリアウーマンだ

その母さんに呼び出され
重い足取りでダイニングに
やってくると…

久乃さんが 母さんの
胸に顔を埋めて
泣きべそをかいていた



可哀想に……こんな
に怯えちゃつてるじゃない

よしよし……
久乃ちゃん
は何も悪くないのよ？

ぐすつ……どうしまし
ょう
頼子さん……私
もう
お嫁にいけません……

そんな
大げさな……



可哀想に…
こんな変態に裸を
見られるなんてね

頼子さん…

でも心配しないでね
ちゃんとマサキに
責任を取らせるから

え…？

アンタ久乃ちゃんを
お嫁さんにしなさい

なっ!!

当然でしょ
嫁入り前の若いコの
裸を見たんだから…

ちゃんとそれなりに
責任取りなさいよ



そそんな…!?

なによ
久乃ちゃんのこと
嫌いななの？

.....

返事を待って
ジツと俺を
見つめる久乃さん



き
嫌いなわけ…
ないけども…

あはっ♡

俺の返事を聞いて
久乃さんは
嬉しそうに笑った



そりやあ俺だつて…
久乃さんのことは
小学生の時から大好きだ

彼女こそが俺の
初恋の相手にして…

今なお憧れの
女性だったりする



久乃ちゃんみたいなのを
お嫁さんにできるんだから
感謝しなさいよね

だから…
どうしてそこで
母さんに感謝しなきゃ
ならないんだよ!?

元はといえば
ワタシと雪乃がそういう
約束をしたおかげでしょ

またその話か…

雪乃さんは久乃さんのお母さんだが…どうやら本人たちは本気らしい

俺の嫁じゃなくて自分の娘にしたいだけだろ！

そいつとも言うわね

やっぱり
そうなのか…



私じゃ…
ダメですか？
政紀さん…

いいや…そう言う
ことじゃなくて

俺なんかよりも
むしろ久乃さんの
気持ちの方が
重要なんじゃないや…



俺は嬉しいに
決まってる

でも 久乃さんこそ
本当に俺なんかの
お嫁さんでいいのかな…？

それなら
大丈夫です

そう言っつて
久乃さんは
ニッコリ笑った



その笑顔に
思わずドキッとする

それはつまり
久乃さんも俺のことを
好きなんだという――

頼子さんの
娘になれるのでしたら
私も嬉しいですから♪

そっちなかよっ！



もく
久乃ちゃんてば
可愛いんだから〜♪

久乃ちゃんが
そう言うてくれれば
ワタシも安心して
向こうに行けるわ

え…



留守中 お願いね
こんなバカだけど
番犬くらいには
役立つだろうから

はい
お任せください

花嫁修業の
良い機会ですから♪

もうまた嬉しいこと
言ってくれちゃって♪



ちよっ ちよっど…
母さん…どっか行くの？
また出張？

前々から出していた
転属願いが
ようやく叶ったの

2週間後に
アメリカ支店に
転勤よ♪

て 転勤!?
しかもアメリカって…



じゃあ
予定通りに頼むわね
久乃ちゃん♪

はい
頼子さん♪

予定通りして？



ワタシの留守中
久乃ちゃんにはこの家に
泊まり込んでもらって…

あんたの
お世話をしてもらう
約束になってるの♪

な…なんだっ
てえええつ?!?!?



じゃあ…母さんが
出発したら…
俺は久乃さんと
2人でこの家に？

いいのよ
花嫁修業なんだから

は花嫁修行って…

政紀さん…

はい…


真っ正面から
見つめられて
俺は思わず固まった

そんな俺を見て
久乃さんは
ニッコリと微笑んだ

私
がんばります♡

ふつつか者ですが…
よろしく
お願いしますね…ぽっ♡

え…
い…あ…の…



久乃さんの眩しい
笑顔に目も頭も
くらまされ…

思わずココココと
うなづく俺だった…



ふわあああああつ…
結局 ロクに
寝れなかった…

昨夜は
結局2人に強引に
丸め込まれてしまった

とはいえ 昨日は
母さんの部屋で
寝てもらったのだが…

ウチの母さんと
雪乃おばさんが
OKだとしても 他にも
問題がありまくりだろ…

たとえば 学校に
どう伝えるかとか…

まあ 言わない方が
いいのかも
しれないけど…

それに 友達関係にも
話すべきか
黙っておくべきか
悩みどころだ—

デキ

おはようございます
みなさん

久乃さんキター!?

おおはよう
ございます!
久乃さん!



あら 久乃さん…
今日はいつもより
遅めなのね？

ええ 実はさっき
学園長室に
行ってきたんです

学園長室？



ええさつきまで学園長室で
遥海先生を交えて
3人でお話ししていました

遥海先生は
ウチのクラスの
担任教師だ

その遥海先生と
学園長を交えて
話し合い？



私三嶋久乃は
この度 深田政紀さんの
内縁の妻として…

彼の家で
同棲すること
になりました♪

んなっ!?

ど…同棲!?



はい♪

先ほど 学園長に対して…
深田・三嶋両家の同意書を
提出してきたんです

え…そんなの
俺 知らないよ？

ねねえ 久乃さん…
同棲の同意書って…

将来 必ず
入籍することを前提に
2人の同棲を認める
という同意書です

将来…
必ず入籍いつ!?

ま
政紀!?

し
知らんっ!
俺はマジで知らんっ!



それで 学園長は何と?
同棲を認めて
くれたのかい?

学園としては…
許可を与えるわけには
いかないとのいどでした

そ
そうか…

そりや
そうだよな…



しかしながら…
何しろ両家の同意書が
あるものですから

原則的に卒業までは
公にしないと…という点で
黙認して頂く事にな
りました♡

教室にどよめきが
わき起る

ふ 深田…アンタ…
同棲するの?!

ふむ 何にしろ
めでたいことだね

そ そうみたい…
だな…

そ そうみたい…
いやめでたいか?
本当にそうか?!



ああつまり…君たちは
婚約することにな
ったわけだろうか？

…ああ
そうかあつ！

久乃さんは確かに
将来の入籍が
前提って言うっていた

ということとは…俺と
久乃さんは婚約したって
いうことになるのか!?

ととりあえず…
おめでとう

政紀
おめでとう

複雑な表情で
祝いの言葉を
口にする鳴原

俺の方が複雑な
気持ちだつての!?



それとこれは遥海先生から
言われたことなのですが…

なに？

卒業するまでの間
妊娠だけはしてくれるな
とのお達しでした

に妊娠て…



ででも…？

でも…

お年頃の政紀さんが
私の肢体に劣情を爆発させ
獣のように猛り狂って
しまった挙げ句…

毎晩のように
大量の精液を私の子宮に
注ぎ込まれてしまったら…

私が愛しい
旦那様の赤ちゃんを
早々に孕んでしまうのは…
仕方のないことですよね？

なっ…!?

ひく乃さんも
妙なこと
言わないでくれ！

あら 妙なことだ
なんて——

だいたい入籍とか結婚とか
それは親同士が
勝手に決めたことだ！

俺や久乃さんは犠牲者だ！
こんなことが
認められてたまるかつ！



そんな…ひどい…

ひく乃さん？

昨夜は私でいいと言ったのに…あれは嘘だったんですか？

いや
あれは…



政紀さんは…
やっぱり私のことが
嫌いなんですか？

き嫌いじゃないけど
でもそれと「れとは…

私と結婚するのは
イヤなんですか!?

イヤでは
ないんだけど
それはそれとして…

私の子宮に あなたの
精液を流し込みたく
ないんですか!?

流し込みたいっす!

はっ!?

言っちゃったよ!?



え...?

...嬉しい♡

見るとクラスの中で
1人だけ 久乃さんだけが
頬を赤らめてクネってる

あはっ♡

クラス中の祝福を受け
恥ずかしそうに
頬を赤らめる久乃さん



もう…
政紀さんたらあ♡

皆さんの見ている前で
そんなこと言うなんて…
私恥ずかしいですう♡
きや♡

政紀さんの…
えつちい♡

えー





はあ…
それにしても…

まさか あの話が本当に
実行される日が来るとは
思ってもみなかったよ

あの話とは？

久乃さんと俺が
将来結婚するって話…
久乃さんは
本気にしてた？

私はいずれ必ず
政紀さんと
結ばれるものと…

そうずっと信じて
いましたから…きゅ♡

そそうなんだ…

そいまで言われると
さすがに照れるな…

だから私と結婚する気はないと言われた時は…
本当にショックでした

ん…



ショックのあまり
私もつい…

あのようなことを
口走ってしまいました…
ごめんなさい

いや
俺こそ…ごめん



久乃さんは…
俺のこと
どう思っているの??

愛してしまおう♡

またキツパリと
即答された…

そそ
そうなんだ…



政紀さんは私のことを
どう思ってますか？

き嫌いじゃないよ…
ていうか
大好きかな

政紀さん…
嬉しいです…ほっ♡

……

可愛いなあ
ちくしょう

本当にこんな可愛い人が
俺のお嫁さんにな
なつてくれるのか？

なんだかまだ…
ぜんぜん現実味を
感じないと言うか…

政紀さんはこの後…
いかが致しますか？

え…

お食事になりますか？
お風呂にしますか？

それとも…
わたくし？
きやあんっ♡

どうしましょっ？
特に3番目が
お勧めですけど…ぽっ♡





あー

あー

あー

あー

あー

Lia

だ…大丈夫

その水着は
とても過激で
きわどいモノだった

当然の様に
風呂に入ってきた
久乃さんだったが…

どこかかゆい所は
ありませんか？

ゴキ
ゴキ

いっ
いっ

び
び



とほくら—

ぷんぷん

そ…そうすか

ぷん
ぷん

ぷん

ふうっ…
政紀さんの背中
結構大きいんですね♪

ぷん
ぷん

くはあはあはあ

んんん

ぷん
ぷん

その気持ちよきは
正に天国！ 思わず
うなり声が出てしまっ…

はあ…
気持ちこころ

うふふふ♪ それは
良かったです♡

ぱん
ぱん

ようやく一息
つけた気がする

もちろん久乃さんと
暮らすのは嬉しいこと
ではあるのだが…

やはり何と云っても
心の準備が
まだ整っていない

要するに
結婚する覚悟がまだ…
できてないってことだ

ふん

プン

プン

おん
おん

…おっおっおっ…!!

突然
背中に何とも言えず
気持ち良い感触が…

んんんん

…んん…!!

おんんんん

こここれは
いったい—



あんなあんな

んんん...ごめん

あんなあんな

あんなあんな



あんなあんな

あんなあんな

あんなあんな

ひく乃さんっ!?

なに何さ!?

私の手は小さくて
効率が悪いので
代用品を
使ってみました♪

政紀さんの背中
大きくてたくましくて…

スポンジでは
とても洗いきれない
んですもの♪

あーんあーん♡

ぞろぞろ♡

ぞろぞろ♡

それはいくら何でも
大げさじゃあ
…んひっ♡

んっ…んしよっ…
気持ち良いですか？

ははっ…

と…い…う…か…
気持ち良すぎますか？！

さっきからチンポが
ドンドン…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…



んっ…
ふっ…んっ

久乃さん…
あの…さつきから…
柔らかい感触の中に…

一部 コリコリした
硬いモノが
背中^に当たってる
みたいなんだけど…



はい
当ててゐるんです♪

そそれって…
乳首だよね？

あーん
あーん

はい
乳首です
…ほっ♡

あーん
あーん

あーん
あーん



み 水着はっ!?

気が付いたら
はだけてしまっ
ました…あんっ♪

あんっ
あんっ

あんっ…

あんっ
あんっ

あんっ
あんっ



んっ…
はあっ…あっ♡

ひ久乃さん？
あの…頼むから
変な声を出すのは—

はあ♡
はあ♡

ごめんなさい…んっ♡
でもおつい…はあっ♡
出ちやうんです…
ああんっ♡

そそっうなんだ…

ぞっぞっ

はあ♡

うおおおおおー！

ギンギンに
勃起しまくって
チンポ辛い辛い辛い！

はぁ♡
はぁ♡

かといって
ここで久乃さんを
襲ったりしたら…

それこそ俺の未来は
即確定してしまう!?

おっ

おっ

はあっ...んっ...やあん...
政紀さんの背中ってば
テクニシヤン♡

...んっ...んっ...

あ...んっ...

あ...んっ...

耐えろ！
耐えるんだ俺っ！

あつ…
あはんっ♡

くもっ…!!?

久乃さんの過激な
オツパイ攻撃に対し…


自らを生殺し状態に
追い込む俺だった…

むっ♡

むっ♡

はっ♡
はっ♡





実は業務用ドーションまで
用意していた久乃さん

同棲彼女久乃さんと
中出し孕ませ
らぶせつくす♡

ああっ…はい…♡
私…昔から胸が
妙に敏感なんです…

はい…感じて
しまいます…♡
やあっ…
恥ずかしいです

じゃあ…走ったり
激しく動いたり
すると…？

はなはな♡
はなはな♡

そんな恥ずらう
久乃さんが
ひたすら愛して♡

同棲彼女久乃さんと
申出し孕ませ
らぶせつくす♡

同棲彼女久乃さんと
申出し孕ませ
らぶせつくす♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

これ…いい…
いい…
♡いいです♡

あはあ♡
♡やっぱいい…おちんぽ
♡気持ちいい♡

おちんぽ…
♡気持ちいい♡
♡はあ♡

ズ
ズ

ズ



気持ち
いいですか？

うん 極上の
感触だよ…♡

あはっ♡
嬉しいです♡

もっともっと
久乃のおっぱいで
感じてください♡

んんん…

同棲彼女久乃さんと
申出し孕ませ
らぶせつくす♡

あなたの精子で
孕ませてえ♡

同棲彼女 久乃さんと

中出し孕ませ

♡ たっぷり♡

原画：熊虎たつみ
シナリオ：木村山拓哉夫

基本画像21枚+立ち絵7体
差分を含め、総CG枚数585枚

